氏名	森 正樹（ﾓﾘﾏｻｷ）	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	特別支援教育・障害児保育・臨床発達心理学・学校コンサルテーション				
学位	修士（教育学）				
学歴	東京学芸大学教育学部特殊教育学科卒業(1991年3月)　東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科修了(2003年3月)				
経歴	社会福祉法人昴こども発達センターハローキッズ地域サービス課長、宝仙学園短期大学保育学科非常勤講師、東京学芸大学教育学部非常勤講師、埼玉純真女子短期大学こども学科助教授、埼玉大学教育学部非常勤講師、埼玉県立大学保健医療福祉学部非常勤講師を経て現職				
所属学会（役職）	日本発達心理学会・日本発達障害学会・日本特殊教育学会・保健医療福祉科学学会・日本臨床発達心理士会（「臨床発達心理実践研究」常任編集委員）				

【2020年度実績】

1．研究業績

（1）著作

	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	不登校の予防と対応	共著	あり	図書文化（38-41）	会沢信彦･諸富祥彦･大友秀人編著	2020.10
2	心とからだの健康	共著	あり	健学社（60-62）	学校保健教育研究会	2021.3

（2）論文

1	該当なし						

（3）学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	該当なし				

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	該当なし				

2．競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし			

3．教育業績

（1）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	発達障害論	〇	15	発達障害の特性と支援について、学生が主体的に学習できるように、遠隔授業に対応した資料･問題集･仮想事例を準備。併せて、理解を深め発展的思考を促す発問･設問を工夫した。
2	教育心理学	〇	15	教職志望の学生が、学習･認知･社会性等の理論を実際の児童生徒の姿に関連付けることができるように、応用的思考を促す発問･設問を工夫。遠隔授業に合わせ資料を大幅に改訂した。
3	人間発達学①	〇	15	人間発達を身近な事柄として考える視点を提供すべく、新たに映像資料を準備。既習事項を踏まえ発展的思考を促す発問･設問を工夫。遠隔授業に合わせ資料を大幅に改定した。
4	人間発達学②	〇	15	人間発達を身近な事柄として考える視点を提供すべく、新たに映像資料を準備。既習事項を踏まえ発展的思考を促す発問･設問を工夫。遠隔授業に合わせ資料を大幅に改定した。
5	教育相談	〇	15	いじめ･不登校･発達障害等について、現今の教育現場の実態を学ぶ実践的な学習機会を提供。オンライン授業において、学生同士のディスカッションを活性化させる指導法を工夫した。
6	障害児保育	〇	15	障害のある子どもと家族の理解と支援に関して、事例や映像等を活用し実践的学習の機会を提供。オンライン授業で、学生同士のディスカッションを活性化させる指導法を工夫した。
7	家族相談援助法	〇	15	家族理解と相談技法に関し、仮想事例やワークシートや映像教材等を活用し、実践的授業を進めた。オンライン授業で学生同士のディスカッションを活性化させる指導法を工夫した。
8	特別支援教育	〇	8	発達障害など特別な教育的支援を要する児童生徒の実態と指導方法を具体的に理解できるように、映像教材を作成･活用。学生が自主的に学習できるよう、発問や設問を工夫した。

9	コンサルテーション論（大学院）	○	2	自身の著作を活用し、コンサルテーションの実践を解説。学生が自身の体験に基づく話題提供を行ない、課題意識に関連付けてディスカッションする機会をオンライン授業で提供した。

（2）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	カウンセリング技法③		15	紙上訓練･模擬面接･ロールプレイ等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。オンライン授業で学生と教員、学生間の相互性の高い授業を目指した。
2	カウンセリング技法⑥		15	紙上訓練･模擬面接･ロールプレイ等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。オンライン授業で学生と教員、学生間の相互性の高い授業を目指した。

（3）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習	○	2020.9.28-10.02	感染防止のため、実際に学生が福祉施設で活動することはできなかった。代わって講演や課題、映像資料、学生同士のディスカッション等の機会を設け、オンラインでの学習機会を提供。
2	養護実習		2020.9月中	養護教諭を志望する学生の巡視指導を県内小中学校にて実施。当該学生に指導案、教材研究、授業での発問や児童生徒とのコミュニケーションの配慮等に関して実践的な助言を行なった。

（4）論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文		主指導	0名	副指導	0名
2	修士論文	2019～2020	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員）	1名

（5）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4．社会貢献活動

（1）講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	さいたま市立学校 副校長･教頭特別支援教育研修会	さいたま市教育委員会	〔講演〕通常の学級における特別支援教育 ～キャッチコピーで考える実践のヒント～	2020.6 （配信）
2	さいたま市教育委員会 免許法認定講習	さいたま市教育委員会	〔研修〕発達障害教育総論	2020.7
3	文京区特別支援教育研修会	文京区教育委員会	〔講演〕特別支援の視点を活かした環境づくりと配慮	2021.1
4	埼玉未来大学	埼玉未来大学	〔研修〕心を繋ぐコミュニケーション	2021.1
5	鴻巣市特別支援教育研修会	鴻巣市教育委員会	〔講演〕特別な配慮を要する児童生徒の教育的支援 ～キャッチコピーで考える実践のヒント～	2021.2 （配信）
6	埼玉県児童福祉司任用資格 認定講習会	埼玉県子ども安全課	〔研修〕障害者福祉論 ～失敗事例から学ぶ援助の理念とポイント～	2021.2

（2）国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県教育委員会	埼玉県障害児就学支援委員会委員	現在に至る
2	埼玉県立春日部特別支援学校	学校評議員	現在に至る
3	埼玉県立越谷西特別支援学校	学校評議員	現在に至る
4	越谷市教育委員会	発達支援訪問指導事業指導者	現在に至る
5	越谷市教育委員会	教育外部評価者	現在に至る
6	三芳町教育委員会	特別支援教育アドバイザー	現在に至る
7	志木市健康福祉部子ども家庭課	障がい児保育巡回指導指導者	現在に至る
8	狭山市教育センター	専門家巡回支援事業指導者	現在に至る
9	鴻巣市立教育支援センター	通級指導教室スーパーバイザー	現在に至る
10	社会福祉法人昴 共生社会研究所	所友	現在に至る
11	日本発達障害学会	日本発達障害学会評議委員	現在に至る
12	臨床発達心理実践研究編集部	常任編集委員	現在に至る

（3）ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	東武よみうり新聞	第45回 県立大発! 耳より健康情報「子への注意 ひと工夫」	2021.2

（4）その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5．学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教職科目担当者会代表	～2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	障害学生アドバイザー（発達障害）	現在に至る
3	全学的委員会及びセンター業務等	〔学内講演〕学生支援研修会「発達障害の理解と教育的支援」	2021.2
4	学科等における委員会等	実習連絡協議会会長	現在に至る
5	学科等における委員会等	研究誌『子ども・教職研究』編集委員	現在に至る

6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7．特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8．特記事項